

日本機械学会 機械遺産調査票

(記入見本)

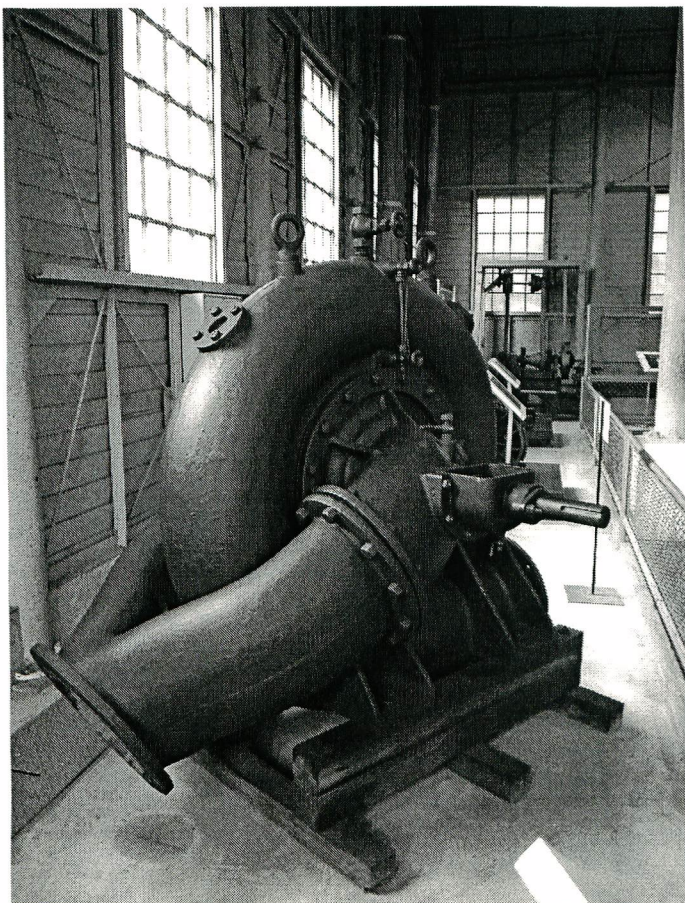
頁	1/2
---	-----

申請(代表)者	石田 正 治	提出年月日	2006 年 2 月 18 日
申請者連絡先 (所属・〒・住所・電話)	愛知県立豊橋工業高等学校 〒480-0093 豊橋市横須賀町元屋敷 14-2 TEL/Fax 0532-31-9285		
申請者 E-mail	ishida 96 @ tcp-ip.or.jp		

ふりがな	いのくろしき りょうすいこみうずまき		
資料名称 (一般名称)	みのくろ式両吸込渦巻ポンプ		
欧文名称	Inokuchi-type volute pump		
資料の分類	流体機械	分類コード	53 (仮)
資料の所在地 〒・所在地・施設名(会社・博物館等)	484-0000 愛知県犬山市内山1番地 博物館明治村・機械館		
資料の管理者(照会できる者)	中野 裕子 (明治村学芸員)		
管理者連絡先 所属・住所・電話・FAX・E-mail	博物館明治村 犬山市内山1番地 0568-67-0318		
申請理由(所見)	いのくろしき みのくろ式渦巻ポンプは、井口左屋の渦巻ポンプの理論を実用化したものである。申請する機械遺産は、現存する最古の国産ポンプで、日本の機械技術が世界的な水準であることと実証するものである。		
申請者評価項目 (評点 優:3 良:2 可:1 不可:0)	評点		
1 独創技術または新規性がある (世界最初、日本最初)			3
2 性能面で特に優れている			3
3 品質面で特に優れている			2
4 意匠・デザイン面で特に優れている			—
5 歴史的価値がある(機械技術史、科学技術史、産業技術史)			3
6 機械技術、機械工学の継承に価値がある			3
7 国民に親しまれ、生活文化の向上に貢献			—
8 地域特有の歴史的、文化的、技術的価値を有する			—
9 伝統技術の保存・継承に貢献			—
10 機械遺産としての保存と管理に優れている(動態保存、原形保存)			3
11 その他、特筆すべき価値がある ()			—
評点合計			17
文化財指定	☒ 有 (A 国・B 県・C 市・D 町・E 村 年指定)		
遺産の現状	☒ A 全体保存公開 B 一部保存公開 C 保存検討中(未定) D 使用中 E 放置 F 廃棄・売却予定 G その他 ()		

(学会記入欄)

学会受付	年 月 日	整理番号	
委員会最終評価	(年 月 日)		
(ふりがな)			
機械遺産名称			
機械遺産 I D			



(撮影: 石田正治 2003/6/30)

東京帝国大学教授井口在屋は1905 (明治38) 年、「渦巻ポンプの研究」として、羽根車^{（ファン）}の作用とポンプの損失を明らかにする理論を発表した。日本の機械工学が黎明期であり、時代、独創的な研究が少なかった中で、井口在屋の理論は画期的なものであった。イギリスのエンジニアリング誌に紹介されるなど、世界が認める理論であった。

井口在屋は畠山一清と共に流体機械の改良に関する特許を1914 (大正3) 年に取得、この実用化のために畠山一清は井口機械事務所^{（現在の工場）}と設立、のりくろ式渦巻ポンプ

を製作するようになり、日本の機械技術は流体機械分野では世界的な水準となる。写真の渦巻ポンプは、千葉県香取郡東庄町の柳沼揚水機場で使用しているもの。国友機械製作所が1912 (明治45) 年に製作、現存する最古ののりくろ式ポンプである。

添付資料一覧

(1) 井口在屋「渦巻ポンプの研究」1905

調査年月日 (期間)	2003 年 6 月 30 日 ~	年 月 日
調査票作成日	2006 年 2 月 14 日	
調査者 1 (申請代表者・調査表記入者)	石田正治	
調査者 2	調査者 3	調査者 4
備考 1		
備考 2		